

日付	曜日	活動内容 & 場所	備考
4月26日	日	サンフランシスコ→フランクフルト	移動
4月27日	月	フランクフルト→ヘルシンキ	移動
4月28日	火	Päiväkoti Lauttasaari	
4月29日	水	Päiväkoti Lauttasaari	
4月30日	木	Päiväkoti Lauttasaari	
5月1日	金	NationalDayのため休み	
5月2日	土	休み	
5月3日	日	ヘルシンキ→バルカウスへ移動	移動

～日常の保育の中で一人ひとりの違いを自然に包み込み、集団の力として生かす実践～  
(2026年4月28日～30日)

#### 研修施設：Päiväkoti Lauttasaari

本研修では、フィンランド・ヘルシンキ市ラウッタサーリにある Päiväkoti Lauttasaari の「TUOMET」グループ（3～5歳児）において、インクルーシブ教育の実践について視察を行った。この園は約250名規模の大規模施設であるが、小グループ単位で保育が構成されており、その中でインクルーシブな実践が日常的に行われている点が特徴的である。

本グループでは、年齢や発達段階、言語背景、得意・不得意の差を特別視するのではなく、遊びや生活を共通の土台として、すべての子どもが同じ場に参加できる保育が展開されていた。活動は一つであっても、それぞれの発達段階に応じた関わり方や楽しみ方が可能となるよう設計されており、子どもたちは無理なく自分のペースで参加していた。

特に印象的であったのは、日常の生活場面における関わりである。着替えや移動の場面では、大人が急かしたり手を貸すのではなく、子どもが自分で行うことを前提とし、時間がかかる子どもに対しても見守る姿勢が貫かれていた。待ち時間においては、歌やゲーム、クイズなどを取り入れることで、子どもが安心して過ごせるよう工夫されており、「待つこと」自体が支援として機能していた。また、大人が落ち着いて関わることで、子どもも安定して行動する様子が見られ、子どもの姿は大人の関わりに大きく影響されることが確認できた。

活動内容についても、異年齢で構成される集団の中で、すべての子どもが参加できるよう工夫されていた。例えば、身体活動や遊びの中では、同じ教材を用いながらも、子どもそれぞれが自分なりの方法で関わるができる構成となっていた。また、使用されている教材や遊具についても、特別なものではなく、既存の遊具や環境を工夫して活用している点が特徴的であった。

特別支援の観点においては、支援が「特別なもの」として切り分けられるのではなく、日常の保育の中に自然に組み込まれていた。絵カードやジェスチャーなどの視覚的支援、小グループでの関わりなどが必要に応じて取り入れられ、個別のニーズに応じた対応が行われていた。また、特

別支援教師による巡回支援や、ネウボラ（Neuvola）との連携により、子どもの発達は一貫的に把握され、早期発見・早期支援につながる体制が整えられていた。

さらに、保育者は日々の観察と対話を重ねる中で、個別のニーズを全体保育の中に組み込み、ラベリングや分離を生まない支援を実践していた。子ども同士の関係性や学び合いも重視されており、年上児の姿を通して自然に学ぶ環境が形成されていた。

本研修を通して、インクルーシブ教育とは特別なプログラムとして実施されるものではなく、日常の保育の質そのものを高める取り組みであることを学んだ。一人ひとりの違いを前提としながら、それを集団の中で生かしていく実践は子ども同士の関係性や育ちを豊かにするものである。

今後は、本研修で得た知見をもとに、自園においても子どもの主体性を尊重した環境構成や関わりを見直し、違いを受け入れ合う保育の実現に向けて取り組んでいきたい。



最寄り駅～園までの道

広大な園庭のある Päiväkoti Lauttasaari



視覚的支援

クラス内の様子：お昼寝前

この後の運動活動につなげるための導入としての絵本読み聞かせ

TUOMET グループ  
(3～5歳児) 合計 13 名在籍  
担任 2 名



子どもたち皆がそれぞれに楽しめる活動



安定感のある椅子



手すり付き踏み台



お昼寝前



ホール（廊下）



伝統菓子：Mnkki



4/29 ベジタリアンメニュー



フィンランドでもポケモンは大人気



お世話になった担任の先生たち

Amanda Lindström 先生、Markus Virtanen 先生、Omppu 先生（特別支援教師）

～文化・

伝統～

4/30・5/1 に行かれるフィンランドで一番大きなお祭り「Vappu」10万人規模を体験できました！

白い帽子をかぶってる人が大勢。白い帽子はフィンランドで高校を卒業した人が持っている帽子で、高等教育を受けた証だそう。科学大学卒の人は、帽子のてっぺんから紐が出てたりと、ちょっとした違いがあるそう。友人がピクニックに誘ってくれて、一緒に楽しませてもらえました！皆との出会いに感謝！

こんなに天気の良い Vappu は 2006 年？以来だそう。園の先生も、友人も、皆がととてもとても楽しみにしていた特別な日でした。



伝統のドーナツ“munkki”

これは、手作り♡



町中が人で溢れかえる二日間。  
人口密度が凄まじい。



フィンランド ヘルシンキ近辺では新芽が芽吹き、水仙が咲き乱れそう。春の訪れを感じる季節です。とはいえ、日中も10度以下の日もまだ多く、園の子どもたちは外遊びに行く前には防寒着をしっかりと着込みます。